

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	神学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.4 成果
小項目	6.4.1 教育目標に沿った成果が上がっているか。
要素	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価）
小項目	6.4.2 学位授与（卒業・修了判定）は適切に行われているか。
要素	学位授与基準、学位授与手続きの適切性 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価） 学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策（院）（専門）

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 進路も含めた修了生を追跡調査する手法を策定し、実施する。	→追跡調査の実施（2013年度までに）	C→D に変更
2. 学位授与基準、修了認定基準に則った手続きが行われているか検証する体制を整備する。	→審査委員会の報告に対する研究科委員会による手続きの検証実施（2013年度より）	C

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

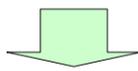
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目6.4.1	(現状説明) 在学生調査および修了生調査によって成果を計ることを検討しているが、その方法は現段階において模索中である。
☆ 小項目6.4.2	(現状説明) 学位授与基準および修了認定基準に則って、審査委員会報告に対する手続きの妥当性を検証する仕組みを検討中である。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目6.4.1	
☆ 小項目6.4.2	
その他	



【次年度に向けた方策(1)】伸ばさせるための方策

小項目6.4.1	
☆ 小項目6.4.2	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項	
小項目6.4.1	
☆ 小項目6.4.2	
その他	

↓

【次年度に向けた方策(2)】改善方策	
小項目6.4.1	
☆ 小項目6.4.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】	
☆ その他 (自由記述)	

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○6.4.1「模索中である」とすると、「目標」1の進捗評価は「D」が妥当ではないでしょうか。6.4.2も「D」に近いと思われます。指標を例えば年次ごとのプロセスに細分化して、年次ごとに進捗状況を判断するなど、きめの細かな対応が望まれます。

【学内委員】

○成果の検証は難しい問題ですが、測定方法を確立され、検証されることに期待します。

○自己点検・評価は、本学の状況や考え方を社会にわかり易く説明する役割もあります。また、認証評価につなげることも視野に置く必要があります。加えて、本シートを見ればある程度のことかわかる必要があります。そのためにも現在はどうであるのか、要素を視野に置きながらもう少しご説明をお願いします。

○本項目についてはあまり進展がみられません。検討の具体的スケジュールを明記することが望まれます。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

- ★ 博士課程前期課程における研究成果の測定に関しては、1年次4月に提出する「研究計画書(2ヵ年)」および2月に提出する「年次報告書」のほか、最終学年度(2年次)の10月に開催される修士論文中間発表も重視している。

Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

6.4.0.S1	学生の授業評価におけるシラバスの有効性に関する質問への肯定的な回答の比率
6.4.0.S2	定期試験の問題の適切性を検討する会議・委員会の有無と開催頻度
6.4.0.S3	各学部における学生の進路状況
6.4.0.S4	一括申請による教職免許状取得件数および取得者実数
6.4.0.S5	日本学術振興会特別研究員応募者の有資格者に占める割合
6.4.0.S6	各年次セメスターごとの履修単位数制限の状況
6.4.0.S7	成績評価の分布が適正な科目(平均点が70-75点)の比率
6.4.0.S8	GPA値(全学、学部別、男女別など)
6.4.0.S9	修士学位・博士学位・専門職学位の授与数
6.4.0.S10	KGPSの修士学位・専門職学位の授与数
6.4.0.S11	3年卒業の適用者数
6.4.0.S12	ジョイント・ディグリーの授与者数
6.4.0.S13	標準修業年限未満の修了者の数
6.4.0.S14	在学生のうち「この大学で人生の一時期を過ごすことが、将来にとって役立つと思う」人の比率

<個別的な指標>
